

【8月15日】お江戸コラリアーズ定演など 情報断片10

(2011/08/15 月曜日 18:59:02 JST) - 投稿者 webmaster - 最終更新日 (2011/08/18 木曜日 21:58:43 JST)

情 報 断 片 (2011年10) ? Latvija編集長 徳田 浩? ? 多彩なプログラム、男声合唱の真髄を堪能合唱団お江戸コラリアーズ第10回定期演奏会 8月13日(日) 杉並公会堂大ホール? 今年も男声合唱の可能性をとことん追求する多彩なプログラムで、愛好者としては正直、“マイツナ!”という気持ち。男声合唱団としてノリにノッている今が旬の真っ盛りとい感じで、アンコール「斎太郎郎」の荘大なフォルテッシモが終った後も、聴き手としての心地よい疲労感も味わいながらしばらく席を立てなかった。 ? オープニングで歌った「Cantate Domino in B♭」(松下耕作曲)にまず痺れた。作品も素晴らしく、被災地の復興を願う最高の演奏だった。続く「バルトからの贈り物」はラトビアの作品を2曲、エストニアの作品を1曲。それぞれ多彩なテクニックを駆使した作品だが、作曲家が意図した音色、響きを最大限に表現した。とりわけソロと合唱が一体になった積層の響きに感動した。? 期待した「青いメッセージ」(高嶋みどりの初期の作品)は期待を遥かに超える名演だった。1984年に早稲田グリーが委嘱初演して絶賛を博し、先日の四連で関学グリーが好演した作品だが、豊かな表現力にこの作品の奥深さに初めて触れた気がした。最後のフォルテッシモに、この合唱団の限らない可能性を感じた。ブラボ!。? 後半最初の「東京だよ、おっかさん」は、早稲田グリー1997年委嘱作品のリメイク版(宇田川保明編曲)。東京六連で定番となったワセグリのエンターテインメントステージは、時にハラハラする場面もあったが、この日は団員によるパフォーマンスも含め大いに楽しめ笑った。団員ピアニストの村田雅之君がなかなか見事だった。ただ、この合唱団の多様性を賞賛しながらも、こういうステージは他の合唱団に任せた方か!、とも思った。? 最終ステージは委嘱初演「Samann一種を蒔く人ー」(信長貴富曲)。震災後に、何かを表現したいという執念ともいえる欲求から作曲された作品。作者は「歌い手は種を蒔き続けることを悲痛に宣言し、やがて咆哮とともに曲を閉じる。その叫びは泣哭、怒号、神への抗議、あらゆる声が混ざり合ったクラスターであり、生きようとする人間の意志」と解説していたが、会場に驚嘆の音が鳴り響いた。大きな問題を投げかけたような力作だが、聴いていて体がコチコチになった。最後に歌われた同じ作者の美しいメロディとハーモニーにホッとした気持ちになった。? 男声合唱団に女性メンバーが3名? 今年のオンステは約80名(パンフに出演者氏名が欲しい)。歌い盛りの若手中心で壮観だが、その中に女性が約3名いた。この合唱団と一緒に歌いたいという女性がいても当然だが、さすがにかなり驚いた。何でもありのお江戸だし、たしかにこの合唱団は、男声合唱団とはどこにも表示してない。譜面よりオクターブ下げて熱唱していたようで、いわゆる女声は聞こえなかったが、コンクール出場の際はやがりルール違反になるだろうね?? 合唱団お江戸コラリアーズは、今年もコンクール出場をはじめ多彩なスケジュールが予定されている。一層の活躍を期待したい。ガイスマ指揮者でもある山脇卓也君は完全に一流指揮者の仲間入りを果たした。ますますの精進と健闘を祈りたい。?? シャーロット・ド・ロスチャイルドさん(ソプラノ)再度、サロンコンサートに出演(9月1日[木]・ラトビア大使館)? イギリスの名ソプラノ、シャーロット・ド・ロスチャイルドさんが、再度、ラトビア大使館サロンコンサート特別演奏会に登場し、お得意の日本歌曲をはじめ、ラトビアの歌、フォーレ、シューベルト、ガーシュインなどの作品などを演奏する。ピアノは風呂本佳苗さん。開演は18時30分(開場18時)、入場料は3500円の予定(懇親会費含む)。初秋の一夜をどうか心豊かにお過ごしください。非会員の方も会員同伴なら入場可能。お申し込みは電話・ファックス04-7232-5423(加藤晴生専務理事)宛にお早めに。? 関西日本ラトビア協会ニュース第5号熱気感じる豊富な内容・全カラー16ページ ? 多彩な活動を続ける関西日本ラトビア協会ニュース第5号が、金井雅孝同事務局長からこの程編集室に到着。「ラトビア語教室(大阪)風景」「関西学院大学学長のラトビア大使館訪問記」「ラトビア植樹祭」「カンパエルス経済大臣を囲む懇親会」「オペラ歌手ノルヴェリスさんのチャリティ公演」「ラトビア映画“香港コンフィデンシャル・雨夜”出演者歓迎会」「ラトビア大使館だより」など豊富な内容。オールカラー16ページ。“リガコレクション”““第6回大使館サロンコンサート”訪問記なども掲載されている。お読みにになりたい方は編集室へ。財政的理由で日本ラトビア音楽協会ニュース「Latvija」の発行が遠ざかり、編集者としていささか残念ながらホームページに出来るだけ情報を掲載しているのでご愛読を。ご理解ある「Latvia」広告主の出現を待望している。? 元ボニージャックスの「大町正人君を送る会」9月18日 ホテルグランドパレス 17時30分? 7月8日に、10年余の闘病生活に終止符を打ち72年余の生涯を安らかに閉じた大町正人君を送る会が、9月18日(日)17時30分から九段下・グランドパレスで行われる。呼び掛け人はボニージャックのメンバーで、“生前親しかった人に大勢集ってもらって、みんなで思い切り楽しく歌って送ってあげたい。”と、ますみ夫人ともども願っている。葬儀は親族だけで行われたので、私のところへも“お別れ会は何時ですか?”と問い合わせが多々ある。是非ご参集を。会費10000円(当日払い)で費用の残額は香料として喪主に渡される。申し込みは9月6日までにボニージャックス事務所へ。当編集室宛でも可。 私は大町君が死去する直前まで長時間一緒にいたが、彼との“くされ縁”とも言うべきいろいろな交遊話は別の機会に記したい。? 78歳の夏? 私ごとながら、今日8月15日は78歳の誕生日。もはや、目出度くはないが、友人たちからお祝いのメールを貰った。ありがとう。7月に夏風邪を拗らせて自信をなくした時期があったが、大阪でのOB四連に出演する前から元気を取り戻した。小学6年の暑い夏休み中のこの日、奈良の自宅2階で、母・妹と三人が正座しながら玉音放送を聞いたことを鮮明に記憶している。父は戦場だった。今年も誕生日を迎えられたことに感謝しながら、もうしばらくは当協会のために、ささやかな貢献を続けたいと念じている。 ? 今回も演奏会の翌日から故郷・奈良へ行った。昨年に続き、古い友人と親友の墓参りもできた。亡き妻の供養もしてきた。大阪では懐かしい早稲田グリーの後輩たちとも旧交を温めた。新大阪に到着し、合同演奏練習会場がある吹田に向かうべく京都行きのJRに乗ったが、うっかり快速に乗ってしまう。再び茨木から各停で戻った。その車中で熱心に楽譜を見ている紳士に“OB四連出演ですか、と声をかけたら、何と、単独ステージで私と並んで歌う予定の相田一雄君(45年卒)。初顔合わせにもかかわらず、歌はもちろん、床を足で強く踏み続けるパフォーマンスも呼吸ピッタリで見事だった。”徳田はんが来てくれはって最年長出場を免れましたわ“と、辻壽君(34年卒)。長年ローガンDXと一緒に歌い続けた鎌田龍児君(35卒)は、稲グリ単独練習が終った後に美味なフランス料理店を予約してくれ、深更まで心豊かに談笑した。同じ読売テレビの後輩アナウンサー道浦俊彦君(59年卒)は堂々たる貫禄を身に付け、自著新刊のPRをしていた。新聞社の後輩でもある田中一生君(37年卒)は全く老けず昔同様の好漢ぶり。病で片足を切断した富永侃君(35年卒)が車椅子で元気な姿を見せた。“俺の葬式には来てくれよ!”とジョークを投げかけながら、彼の回復を喜ぶ固い握手を交わし涙が出た。現役時代に神様の存在だった坪井秀夫先輩(28年卒)は“よく頑張ったな!”と私の健闘を誉めてくれた。嬉しかった。大阪稲グリの手すりリーダー的存在のA君はオツムがかなり薄くなっていた。書けばキリがない…。東京でもグリークラブの仲間宝物とも言える良き友人たちだが、関西にもこんな仲間がいることがたまらなく嬉しかった。大阪2日目はちょっとロマンチックな夜を過ごしたが、これはナイショ。出来るだけ長く元気に生き続ける幸せを満喫したいとつくづく思う。以上、78歳誕生日のダレ言。【7月13日】第60回東西四大学演奏会他 情報断片9? 【5月31日】被災地復興支援合唱コンサートなど【5月17日】「祈り」録音に238名が参加 他【4月23日】音楽の限らない力 稲グリシニア会定演など??